



表紙から

「おもてなし」の国に、ヘイトスピーチが響く。日本は本当に「世界一尊敬される国」か？

読売新聞 / アフロ、PIXTA

2015 1/17
CONTENTS

58 【第1特集】

検証

ビジネスマンのための

日本論

60 図解 世界が見たNIPPON

世界の中の日本経済 / 日本人の価値観

64 池田信夫、呉智英、山田昌弘氏が選ぶ いま読むべき日本論30冊

69 COLUMN | ベストセラーの俗論にご用心 呉智英●評論家

70 Part 1 ニッポン経済神話解体

70 野口悠紀雄 vs. 御厨貴 高度成長の幻想を暴く

74 アジアとの一体化こそ日本の活路

デイヴィッド・ピリング●英フィナンシャル・タイムズ (FT) アジア編集長

76 米国が構造改革を求める真意

リチャード・カット●本誌特約 (在ニューヨーク)

78 お手軽観光立国に喝!

80 クールジャパンなんて誰も知らない

82 日本の雇用論議がすれ違う理由 梅崎修●法政大学教授

84 Part 2 乱反射する日本像

84 「ニッポンすごいぞ」商法の背景 愛国本読者の正体

86 自己過信では日本が沈む 道上尚史●在ドバイ総領事

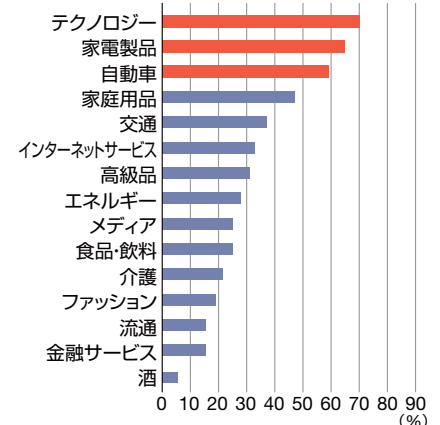
88 中国で日本論は育たない 劉浬●作家 (在北京)

89 韓国に嫌日本はない 水野俊平●北海商科大学教授

90 外国人特派員が語る日本のメディア

92 盲目のスーダン人博士の辛口エール

■ 日本は「技術立国」のイメージが断トツ
—「日本は何に長けている?」という
質問への回答割合— (→P61)



(注)調査対象国になじみがあり、海外旅行や出張が多い、世界の2530人に調査
(出所)FutureBrand "Country Brand Index 2014-15"

野口悠紀雄

早稲田大学
ファイナンス総合研究所顧問



「中国の市場化の遅れで
日本は高度成長できた」

御厨貴

東京大学名誉教授



「靖国参拝に共鳴
する学生は東大でも増加中」

- 9 | 経済を見る眼 | リスクを取る経営とは何か / 柳川範之
- 11 | この人に聞く | 小谷 進 ● バイオニア社長 | 勝負する領域
- 27 | 少数異見 | 問われる「改革」本気度

深層レポート

48 キリン 電撃トップ人事の 舞台裏

突然の経営トップ交代。
崖っぷちの盟主が動いた。



右からキリンホールディングス次期会長・三宅占二氏、次期社長・磯崎功典氏、キリンビール社長・布施孝之氏

- 50 三宅体制の5年と復活への仕掛け
- 54 国内トップに就任したキリン版「半沢直樹」の実像
- 56 INTERVIEW | 磯崎功典 ● キリンホールディングス次期社長

- 94 | 知の技法 | 信頼できる評論家が池上彰氏である理由 / 佐藤 優
- 96 | 中国動態 | アメとムチを使い分けグーグルを揺さぶる中国 / 陳言
- 98 | グローバルアイ | プーチン外交が揺るがす国際安全保障 / リチャード・ワイツ
- 100 | フォーカス政治 | 戦後70年、中国の歴史カードに耐えられるか / 山口二郎
- 102 | 株式観測 | 投資の観点から原油安の影響をどう見るか / 伊藤高志
- 103 | 為替観測 | ECBの追加緩和と政治リスクでユーロ安に / 門田真一郎
- 104 | 価格を読む | 結婚式 | 昨今は「共有婚」が主流 招待客減り費用軽減
- 105 | マクロウォッチ | 原油安で消費者物価は下振れ



- 106 | ブックス&トレイズ | 『感染症パニック』を書いた中原英臣氏に聞く ほか
- 112 | ゴルフざんまい | 心新たに51年目の今年 / 青木 功
- 117 | Readers & Editors | 読者の手紙、編集部から
- 118 | 生涯現役の人生学 | 深夜の「虹をつかむ男」 / 童門冬二

PR
5 ビジネスアスペクト 理研ビタミン / 東証一部昇格を機にさらなる飛躍へ
成長の舞台は世界に
119 BUSINESS WAVE collect サンライズ・アカウンティング・インターナショナル

図表作成：小堀賢吾 / 杉本祐子
本誌の記事は「東洋経済オンライン」「日経テレコン」「ジーサーチ」「ELNET」のデータベースに登録されており、フリーキーワードで検索、出力できます。

核心レポート

18 日本郵政、ついに上場 ガバナンスに課題あり

上場作業を具体化
させる意義を力説
した日本郵政の西
室泰三社長



- 20 タクシー業界を“破壊”
嵐を呼ぶ米Uber
- 22 “黄色い声援”が起爆剤
反撃、新日本プロレス
- 23 家計貯蓄率マイナスに
財政の立て直しが急務

ニュース最前線

- 24 税制 稼げない企業は退出を
法人税改革の大変身
- 24 IT 社長交代で問われる
IBMリストラ後の実力
- 25 騒動 マック釈明会見で開く
外食“バンドラの箱”

巻頭特集

28 ホンダ非常事態

世界販売600万台を目指しアクセルを踏んだ矢先にトラブルが
続出している。あの輝けるホンダは復活するのか。



30 独占インタビュー 本田技研工業社長 伊東孝紳 「失敗は真摯に反省する」

- 36 ホンダ3つの失敗
①フィット5回リコール ②タカタ製エアバッグ ③報告漏れ
- 39 600万台、6極体制「6の呪縛」がなかったか
- 41 創業者ならどうする？
- 42 ホンダにモノ申す！ 清水和夫 ● モータージャーナリスト
- 44 やまぬタカタショック 「経年劣化」が次の焦点
- 47 リコールを監督する米当局NHTSAに集まる批判



「自分の口からきちん
と説明したい」。
伊東氏は本誌の独
占取材に応じた

ホンダ

「アクシデント発生——。急成長へアクセルを踏み込んだホンダが突如、失速した。次から次へとトラブルが続出している。輝けるホンダは復活するのか。」

本誌：木皮透庸、山田雄大
デザイン：内田利枝 進行管理：宮澤由美



非常事態



本誌独占

崖っぷちの「盟主」が動いた!

キリン 電撃トップ人事の舞台裏

飲料業界の名門キリンホールディングスが昨年暮れに突如、経営トップ交代を発表した。電撃人事の裏側には現経営トップが描く、キリン再生の絵図が隠されていた。＝敬称略＝

本誌：田嶋ななみ、堀川美行

撮影：尾形文繁

キリンホールディングス（HD）のプライドが傷ついている。2014年度は決算の主要数値ばかりか、株式の時価総額でも業界トップの座を明け渡した。「独り負け」に直面しているのである。年度末が迫る昨春秋、社長の三宅占二はトップ交代を決断する。「これなら次に渡せるだろう」。底の見えない販売不振に改善のメドが立ってきたのだ。その数日後、三宅はHD社長室に次期経営トップを呼び出す。国内事業を率いるキリンビール社長の磯崎功典である。

経営企画部長など要職を歴任してきた磯崎は、堅実でスマートなキリンの社風を体現するような人材だ。キリンビール社長就任後は全国の社員たちと30回以上の「対話集会」を開いた。磯崎がそこで見つけた病巣。それはキリンが「戦わない集団」に陥っていたことだった。一昔前、キリンのビールシェアは60%を超えていた。もはや営業力強化など不要な時代である。「現場はそのときと同じ状態にあるように見えた」。磯崎の使命は簡単にいえる。「国内の姿をピカピカにすること」。

国内復活を最重要課題として、経営資源を集中させる。その強力な実行役が磯崎の後任としてキリンビール社長に就任する布施孝之である。布施はかつて大阪支社長から、経営不振にあったグループの小岩井乳業の社長に出世した。冷遇にも見える人事だったが、小岩井再生に成功した布施は昨年、販売部門のキリンビールマーケティング社長として経営中核に抜擢される。すると、1年も経たぬうちに国内事業トップへの昇格を果たした。三宅はこう話す。「本流から外れ

ている？ 子会社の経験のない人間はビールの上には立てないよ。彼ほど小岩井を活性化できた者はいないから」。飲料のキリンビバレッジ社長には、布施の同期で、「マーケティングの天才」として知られる佐藤章が昨年春に就任した。三宅は少なくとも1年前から布石を打って、自らの体制の総仕上げを進めてきたのだろう。ラストピース。おそらくそれが電撃人事の真相だ。盟主復活の絵図を完成させることが、三宅が自らに課した最後の使命だったのである。

AFP=時事



ビジネスマンのための 日本論

嫌韓・嫌中と
自画自賛本
ばかりが
なぜはやる?

東京五輪招致の「お・も・て・な・し」プレゼンあたりからだろうか。日本礼賛の書籍・テレビ番組が妙に多い。観光立国や和食・サブカルの海外展開をあおる議論も盛んだ。だが、ここはクールに日本の実力と立ち位置を再点検したい。

本誌：西村豪太、中川雅博、福田恵介、大坂直樹
ライター：竹内一晴
デザイン：新藤真実 進行管理：鈴木 智

